

<週報No.2, 843> 2, 954 回例会

2018年6月1日(金)

◆会長／八幡 一成 ◆副幹事／加藤 明博

◆司会＝平林明 S A A

◆ゲストビジター＝本日は、いらっしゃいません。

◆出席報告

本 日	66.67%	14名欠席
前回訂正	61.90%	16名欠席

◆ラッキーナンバー＝No.6 岩波寿亮君

◆ニコニコボックス＝●八幡一成君＝今日から、諏訪湖の手長エビ漁が始まりました。豊漁を期待しています。●古屋了君・加藤明博君＝本日、次年度のお話をさせていただきます。●山本實君＝数回の欠席になりました。すみません。●山科光一君＝父親の葬儀に際しましては、御丁重なる御厚志を賜り厚く御礼申し上げます。●岩波寿亮君＝ラッキーナンバーに当て。

◆会長告知・八幡一成会長＝今年の会長告知ではイアン・ライズリーRI 会長のメッセージを毎月紹介してきましたが、今日は今年度最後のメッセージをご紹介します。

この60年テーマを選ぶ事は次期会長にとっての荣誉であり課題。過去のテーマを振り返る事は、歴代の会長が抱いた考えやビジョンを知る小さな窓を開くようなもの。窓を開けば彼らが見たロータリー、彼らが考えた世界におけるロータリー、彼らが望んだロータリーの達成事項が見えてきます。

テーマを選ぶ順番が巡ってきた時、私の心に躊躇はなく「ロータリー:変化をもたらす」が2017-18年度テーマになるだろうと即座に思いました。私にとってこの短いフレーズは切望する事です。変化をもたらす事を欲し、支援し、インパクトを生み、世界をよくしていこうと努めているのです。

この2年間、そのような努力の数々を目にしてきました。昨年、山火事で甚大な被害が出たカリフォルニアでは、すべてを失った人達に「変化をもたらす」ロータリアンに会いました。グアテマラでは、簡素なストーブを提供した事で、焚火で調理していた女性達は、煙に巻かれながら調理したり、薪拾いに時間をかける事なく、ストーブを利用して小さな事業を始める事もできました。イスラエルでは、ロータリーが支援している高気圧酸素治療センターを訪れ、脳損傷や脳梗塞の患者が健康で生産的な生活を送れるよう治療を受ける現場を見ました。ロータリア

ンは世界各地の地域社会で難民の新たな生活を支援し、子ども達への予防接種を行い、安全な血液供給を支え、若者への教育・生活支援を通じて変化をもたらしています。

また私は、世界中でロータリアンの植樹活動に参加しました。こうして本誌が発行される間にも植えられた樹木の数は上昇しているでしょう。ロータリアン1人につき1本の120万本以上の植樹は既に完了しています。更にロータリアンは世界中で、ポリオ撲滅のためのアドボカシー、ファンドレイジング、支援活動を続けています。野生型ポリオウイルスによる発症は昨年22件に留まり、僅か2カ国に抑える事ができました。この数は間もなくゼロになり、撲滅に向けた新たな局面を迎えると確信しています。その局面とは、全世界ポリオフリー認定に向けた最後の発症から3年を経過するまでのカウントダウンです。

これで私とジュリエットは、訪問した多くの場所、新たな友人、この目で見た奉仕など、温かい思い出を胸にオーストラリアへと帰ります。「ロータリー:変化をもたらす」のテーマを通じて、皆様が実現された偉大な奉仕の数々に感謝申し上げます。

◆幹事報告・加藤明博副幹事＝北川幹事は所用により欠席。①先週のゴルフ例会ご苦労様でした。親睦・クラブ親善委員会にはお世話になりました。川村会員が初優勝、おめでとうございます。②6月のロータリーレートは110円。③今年度もあと1ヶ月、最後まで気を引き締めていきます。④本日理事会を行うので理事、オブザーバーはお集まり下さい。⑤来週は創立記念日。

◆次年度に向けて 新年度会長挨拶 古屋了会長



現八幡会長をはじめ、歴代会長の皆様のご配慮とご努力を無にする事なく、人間的に尊敬する加藤幹事と、事務局の小口さんに支えて頂きながら、各委員長さんのご協力の下、創立62年目となる諏訪クラブの皆様1人1人の1年間への責任を精一杯務めて参る所存です。

さて、2018-2019年度国際ロータリー会長 バリー・ランソン氏はRIテーマとして「BE THE INSPIRATION インスピレーションになろう」と提唱されました。ロータリアン自身が「インスピレーション」となって地域社会に、より前向きな変化を生み出す。地域にとっての「インスピレーションになる」。その為に「ロータリーの価値を見出し、昨日と違う自分を見つけよう」という事。

行動目標は3つ。優先項目1の「クラブのサポートと強化に関する目標」では、現会員の維持。クラブの会員数を増やす。

新クラブの結成。女性会員、40歳未満の会員、ロータリーに
入会するローターアクターの数を増やす。

優先項目2「人道的奉仕の重点化と増加に関する目標」
では、ポリオ撲滅活動への現金寄付と地区からのDDF寄
付を増やす。DDFを利用した地元や海外での地区補助金
ならびにグローバル補助金を増やす。インターアクトと
ローターアクトが地元のロータリークラブや地域社会と
一緒に奉仕プロジェクトに参加するよう促す。年次基金
への寄付を増やし、2025年までに20億2500万
ドルの恒久基金を達成する。

優先項目3「公共イメージと認知度の向上に関する
目標」では、ポリオ撲滅におけるロータリーの役割の
周知を図る。ロータリーへの認識を高め「世界を
変える行動人」キャンペーンを推進。ロータリー
ショーケースとアイデア応援サイトを利用、クラブ
史を記録しプロジェクトに対する認識を高める。

クラブ及びグループには9の行動計画が示されてい
る。

1. ロータリーデーの開催
2. マイロータリーへの登録・アクセス促進
3. クラブセントラルの活用
4. ロータリーへの理解を深め、退会防止につなげるための入会
- 3年未満会員の研修の実施
5. 会員増強目標 各グループ純増10名の達成
6. 地区事業へのクラブの責務の理解と地区事業参加の促進
7. ロータリー財団寄付ゼロクラブゼロの継続
8. ロータリークラブ対象のロータリー賞への挑戦
9. ロータリーカードの取得

寄付目標について、ロータリー財団では1会員あたり
年次基金へ150ドル、ポリオプラスへ30ドル、ロー
タリー平和センターへ500円、ロータリー財団恒久
基金へ(任意)1000ドル、米山記念奨学会では
20000円以上を目指すとしています。

以上の方針を踏まえ諏訪クラブでは「肚を割り、思
いやりをもって支えあう人の絆こそ即奉仕」との
価値を共有し、その実践が地域に広がる集いとな
る様、ひとりを大切にされた対話から、楽しい
例会を重ねてゆく1年でありたいと方針を定めま
した。

1. 楽しい例会…「飲水思源」をテーマに

私が大切にしている中国の言葉「飲水思源」。布
半で加藤社長の頭上にあつた「飲水思源」の文字
を拝見し不思議な一致を感じました。会員各々の
原点を大切にできる例会にします。

2. 公共イメージの向上と会員増強

- ・地域に根差した五大奉仕の実践
- ・会員増強特別委員会で純増2名
- ・ネット上でのマイロータリー登録促進

3. ロータリー財団・米山奨学会事業への協力と実践

- ・諏訪市の子ども達の教育を支援する奉仕活動の継続を
- ・社会奉仕委員会中心に

- ・蓼科保養学園への図書贈呈 布半での宿泊例会を予定
- 4. ローターアクト増強と支援 現在4名を増強できるよう支援
- 5. ニコニコBOXの充実 クラブの奉仕活動の源泉です
- 6. 地区・諏訪グループとの連携

以上のような方針にて、新たな、より深い価値を見
出していただけるよう、クラブ運営に努めてまいり
ます。

◆次年度に向けて 新年度幹事挨拶 加藤明博幹事



ロータリーに入会してまだ今年で6年目ですが、
古屋次期会長の足を引かない様に努力します。

私事ですが長野県調理師会諏訪支部の支部長
を務めており、10月24日岡谷ライフプラザで
長野県調理師会主催のコンクールを諏訪主幹で行
います。ご協力をお願い

する事もあると思っておりますが宜しくお願い致
します。

例会欠席は出来れば水曜日迄にお願いします。

次年度より点鐘後に幹事の事前報告として例会
の昼食メニューの簡単な説明を行います。

ニコニコボックスは2000円から。一人で出
しても、二人合計でも可。ラッキーナンバー
当選は2000円、結婚記念日は3000円、
誕生祝いは100ドルでお願いします。

次年クラブ計画書を小針会員の尽力のもと7
月第一週の例会でお渡しできる様に進めてい
ます。

配布の役員表は本日時点のもので、理事会
審議中の新入会員の方は入っていません。

次年度、各委員会の親睦会は古屋次期会
長、加藤次期幹事にも声を掛けて下さい。
予定が合えば出席します。

◆次年度例会スケジュール 親睦・クラブ親善委員会小針委員長=次年度も親睦委員長を務めます。例会スケジュール案。8月3日納涼例会。9月14日ゴルフ例会、9月30日バスハイク。“お酒と食べ物”をキーワードに検討中。秋といえば新米。八海山のお酒や、魚沼のお米等、新潟方面を考案中。

12月21日忘年例会。5月24日ゴルフ例会。

◆今後の例会日程

6月8日	金	創立記念例会	創立61周年
6月15日	金	休日	
6月22日	金	クラブ協議会	退任役員挨拶
6月29日	金	クラブ協議会	退任役員挨拶